

銀メダル獲得祝賀会・報告会

12月25日(木)に、うみ・みらい館多目的ホールにおいて「東京2025 デフリンピックデフサッカー日本代表 松元卓巳選手 銀メダル獲得祝賀会・報告会」が行なわれ、約150人が来場し、松元選手の銀メダル獲得をお祝いしました。

祝賀会・報告会の中では、松元選手へ感謝状と花束が贈られた他、来場者からの質問に答えるコーナーや、松元選手が実際に試合や練習で使用したスパイクなどの豪華景品をかけたじゃんけん大会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

松元選手は、町からの応援に対して感謝を述べられるとともに、「あきらめなければ夢は叶うが、夢から近づいてきてはくれない。夢を叶えにいってほしい」と子どもたちへエールを送られました。



閉会式では日本選手団の旗手を務められました



熱いキャプテンシーでチームを牽引



各試合の結果など
詳細は、町のホームページをご覧ください。

銀メダル獲得

大観衆の応援を力に
日本代表としての誇りを胸に



@MAKOTO57GPR / JDFA

松元選手から応援してくださった皆さんへ

宇美町の皆さん、たくさんの応援ありがとうございました。生まれ育った地元で、こうやって皆さんと“一緒に闘う”という経験をさせていただき、結果で応えたかったのですが、今回は叶わなかったので、また、2年後のワールドカップ、そして4年後のギリシャのデフリンピックで金メダルを獲りたいと思っています。

引き続き一緒に闘ってくれたらうれしいです。

宇美町 標



パブリックビューイングで声援を送った こどもたちから松元選手へメッセージ

最後まで諦めない姿がかっこよかったです。次の大会では金メダルを取ってください。

松元選手を見て、僕たちもっとサッカーが上手になりたいと思いました。



みやた つむぎ
宮田 純生 君
じょうじま れお
城島 礼旺 君
さくらざ けんと
櫻木 純斗 君
みやち ゆうせい
宮地 勇惺 君

11月25日(火)に、デフリンピック男子サッカー決勝戦を応援する「パブリックビューイング in 宇美」を開催しました。小学生から大人まで、100人余りの町民の皆さんのが集まり、青いバルーンを手に、日本代表へ熱い声援を送りました。

パブリックビューイングで
町からも応援を届けました

デフサッカー男子日本代表初 デフリンピックでの 銀メダル獲得

11月14日(金)～26日(水)に開催された東京2025デフリンピック。

宇美町出身の松元卓巳選手は、デフサッカー男子日本代表キャプテンのゴールキーパーとして5試合に出場し、予選リーグを1位で勝ち上がり、日本代表史上初の決勝トーナメントに進出。決勝まで駒を進め、見事銀メダルを獲得されました。松元選手は、ゴールキーパーとしていくつもの好セーブでチームを救うとともに、キャプテンとして声と手話を駆使して絶えずチームを鼓舞し、メダル獲得に大きく貢献されました。

松元選手は、「初戦、大勢の観衆が入ったスタジアムに立った時は、やつとここまで来たと嬉しさがこみ上げました」と振り返ります。これまで、デフリンピックやデフスポーツの普及のために尽力されてきたことが形となった瞬間でした。

今後について、「デフリンピックをとおして、デフスポーツを多くの人に知つてもらうことができましたが、一過性のもので終わらせないために積極的にメディア出発などを続けていきたいです。また、アスリートとしては、4年後リベンジして、世界一のキーパーになるという夢を叶えたいです」と次を見据えて力強く話されました。